

N 心寄せ合おう
 Nishisenboku junior high school
 立志の丘で **9**th

～校訓～ 「立志 善心 叡智」
 ～学校教育目標～
 「学び合い 支え合い 高め合い」
 ホームページ・ブログもご覧ください(随時更新)
<http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~ns-nishisenbokutyu1/>

定例朝集会

自分の考えを自分の言葉でしっかり話すことは大切です!

西仙北中の生徒会では、毎週火曜日に定例の朝集会(8:15～8:30)を行っています。この集会では、前もってお知らせしたお題で各学年・学級の代表者からスピーチをしてもらい、そのスピーチに対しての感想も指名された人に話してもらっています。



5月19日(火)に行われた今年度1回目の朝集会のお題は「NISHISEN陸上を終えて」でした。各クラスの代表者は、もちろん原稿などを見ることなく、しっかり自分の考えを自分の言葉で話すことができましたし、突然指名された感想発表者も、代表者の話をきちんと聞いていたのが分かる内容の発表でした。

先行き不透明なこの時代を生き抜くために「臨機応変な対応力」は絶対必要な力とを考えます。具体的には「その場の状況でできるだけ早く判断し、自分で考え、話し、行動する」ことです。西仙北中では、学校生活の中で少しでもこのような生徒の主体性を発揮できる機会をつくり、臨機応変な対応力を身につけるための一助になればと思っています。

園長・校長・支所長等連絡協議会

地域の子どもたちをみんなで支える話し合いを定期的に行っています

「地域の宝」である子どもたちを、地域みんなで育てようという趣旨のもと、標記の会を年に数回行っており、その1回目の協議会が、



5月22日(金)に西仙北小で行われました。会では、大仙市の西仙北地域での取組等について詳しいお話がありましたが、やはり新型コロナウイルスが及ぼす影響について心配される話も出されました。

今後も、園、小中学校、高校そして行政が連携しながら、子どもたちの安全・安心はもちろん、学校としての地域貢献、地域活性化のための取組について協力していきたいと考えています。

今年度の「総合的な学習の時間」は?

生徒一人一人が「地域に貢献できる人材」になることを目指しています!

3年生の総合的な学習の時間では「地域に貢献できる人材」を目指して、西仙北地域(または大仙市・秋田県)の活性化について学習を進めています。その中で、「活性化させるために、中学生としてどんなことができるだろうか?」を考えながら、最終的には「地域活性化プロジェクト」を提案していきたいと考えています。

その一環として、5月22日(金)には、にしせん未来塾の金子さん親子、市の地域活性化推進室の山田さんにお越しいただき、その取組についてお話をさせていただきました。こう西仙北地域をユーマウスで紹介している「Go!Go!綱ガール」の映像も交えながらの話や皆さんと年代の近い大学生の息子さんの話をうなずきながら聴く生徒も多く、内容に共感している様子が感じられました。



5月29日(金)には、大仙市の地域おこし協力隊5名(東京・埼玉・群馬・秋田出身)の方にお越しいただきお話をさせていただきました。普段毎日こはな生活している私たちから見ると、こはな協力の皆さんから見る「人」だそうです。地域を愛する気持ちをもった「人」にこそ魅力を感じるとのことでした。なにか地域活性化のヒントを見つけられたような気がします。



教育実習生

本校の卒業生が先生になるための勉強を頑張っています

先々週までの小松先生に続き、5月25日(月)から、同じく卒業生の大沼先生が6月12日(金)までの3週間、社会科教師を目指して、教育実習を頑張っています。



聞いたところによると、社会科は最初苦手な教科だったようですが、小松先生と同様、中学校時代の社会科の先生に影響を受けて先生を目指すようになったとのこと。ぜひ立派な教師となって、母校西仙北中に戻ってきてほしいものです。

3年生の実力テスト

受験生としての自覚をもって、今から来るべき時のためにがんばっています!

5月28日(木)、今年度の最初の3年生実力テストが行われました。このテストは、来るべき受験に向けて、自分の現在の実力を知り、その課題を克服するための意欲や指針にもらうために毎年10回程度行っています。3年生には、進路学習等を通して、自分の将来を見すえた卒業後の進路選択をしてもらいたいと思っています。ほとんどの3年生は、高校への進学を希望していますが、少しでも自分の実力を上げるための努力を期待しています。先生たちも全力で3年生を応援していきたいと考えています。



IBAテスト(英語能力判定テスト)

これからの時代は、英語力が絶対必要と考えます!

秋田県では、中学2・3年生を対象にIBAテストを毎年実施しており、本校でも6月4日(木)に行いました。このテストは、生徒一人一人の英語力を客観的に判定し、英語学習への意欲を伸ばしたり、自分の課題を知ったりすることで、自分の学習に活用してほしいという願いで行っています。



これからますます社会のグローバル化(国際的なつながり)が進むことは間違いありません。これからの時代は、子どもたちにとって英語力は絶対必要と考えます。

後日、個人成績表が英検協会から学校に送付されます。そこには一人一人の英語学習のアドバイスも明記されているようなので、参考にしてくれればと思います。

花の苗植え

1年生が心を込めて植えてくれました!

5月29日(金)、今年も田村燃料さんと西部給食センターのご厚意により、校舎脇の花壇に1年生の皆さんが花の苗を植えることができました。



この日は、外での作業にはもってこいの晴天で、1年生はみんなと協力しながら、手際よく作業を進めていくことができました。1年生の皆さんには、水やりなどの世話もお願いすることになりますが、もうすぐ来る夏には、きっときれいな花を咲かせてくれることと思います。



あいさつこだま運動

小・中学校が連携して、朝からあいさつの輪を広げています!

毎年恒例の「あいさつこだま運動」が6月10日(水)から始まりました。初日は雲一つ無い青空の下、小学校玄関前や中学校の校門前、自転車置き場前で、今回担当の蒼天学年(1年生)の皆さんが、大きな声であいさつを交わしてくれました。また、この運動に合わせ、PTA校外指導部の皆様からも街頭指導のご協力をいただきました。ありがとうございます。



あいさつは「お互いの心を寄せ合う一番の道具」だと思います。全校生徒が、将来のためにも、自分から進んで誰にでもあいさつできる人になってほしいと願っています。



大仙市教育アドバイザー来校

西仙北中生のがんばりをたくさんほめてくださいました!

今年度の大仙市教育アドバイザーである小笠原晃先生(前西仙北中学校長)が、6月2日(火)の午前中に、西仙北中を訪問してくださいました。



小笠原先生は、懐かしい西仙北中の校舎と授業での子どもたちの様子をご覧になって、目を細めながら、特に3年生がたくましく成長したことに驚くとともに、普段の西仙北中生の頑張りをたくさんほめてくださいました。

小笠原先生は、ご存じのとおり、土川地区在住で、地域住民としても西仙北中への思いがとて深い先生です。これまでも学校行事の度に、全校生徒へたくさんのご厚意も頂戴しておりますし、これからもたくさんアドバイスをいただけるものと期待しております。

美術の授業研究会

みんなが画家の〇〇になって、一人一人思いのこもったリンゴを描きました!

6月10日(水)、指導主事の先生をお招きして、美術の授業研究会(1年A組)が5・6校時に行われました。



今回の授業の題材は、「もしもあなたが画家の〇〇ならリンゴをどう描く?」です。この題材名から、もう気持ちがワクワクしてきますね。これまで使ったことがないようないろいろな画材を使っただけの描画は、2時間の授業があっという間だったようです。



作品を制作しているときの真剣な眼差し、友人と話し合いながら自分の思いを深めていく姿、そして友人の作品を見て感動する心、たくさんうれしい場面や学びが見えた授業でした。